

## 【図書館/関連団体/さばえ図書館友の会】

さばえ図書館友の会は、市民と図書館を繋ぐ架け橋になることを目的に掲げ、1988年4月に設立されました。催事ばかりでなく、図書館運営の様々な面で図書館と協働を推し進めて「市民に開かれた、市民の図書館」づくりに貢献しています。このような活動をしている団体は全国的にも極めて稀です。

2021年度まで、運営は年額1500円の会費のみでまかない、毎月1回「友の会たより」を発行し、図書館での催し物などの案内をしていました。また、図書館と協働してライブラリーカフェやライブラリーカフェコンサートを企画し、実績を上げています。



### ●さばえ図書館友の会の活動

～これらの活動はすべて「文化の館(図書館)」と協働で行っています。～

活動名	趣旨・内容	備考
友の会たより発行	図書館の情報を市民に伝え、また市民の声を図書館運営に反映する機関紙の発行。*2022年3月号(Vol.400)で休刊	
本拭きボランティア	図書館の本を市民が気持ちよく利用できるように蔵書をクリーニングする。	毎月1回
ライブラリーカフェ	様々な分野で活躍している人を講師に迎えてお話を聞き、市民と交流するサロンの開催。市民の知的好奇心を満足させると共に、向上心の刺激を図る。	毎月1回 (2022年12月まで)
こどものつどいへの協力	3歳から10歳くらいまでの子どもを対象に、絵本の読み聞かせや手遊び、折り紙などをして、本に親しむきっかけづくりを行う。	毎週土曜日
本との素敵な出会いへの協力	園児をバスで文化の館に招待して、絵本の読み聞かせなどを行い、本を読むことの楽しさや喜びばかりでなく、人と交わることの大切さも実感できるように働きかけ、情操を育てることを図る。(2022年度は11回活動)	
サークル活動	読書会など、サークルで活動する。(2022年度の読書会は全12回、参加者は計83人)	随時
選書、蔵書構成についてのアドバイス	購入図書を選定する際や蔵書構成を客観的に評価する際にアドバイスする。	随時
講演会・演奏会の開催	講師や演奏者を招いての催しのみでなく、市民の音楽活動や若手演奏家の活動を支援するための演奏会などを開催する。	年数回
ライブラリーカフェコンサート	現在活躍している演奏家に発表の場を提供すると共に、音楽のある生活の豊かさを推奨する。	年数回
喫茶室の運営	文化の館を訪れる市民に憩いと安らぎを与える喫茶室の運営をする。	

【図書館／関連団体／さばえ図書館友の会】

●さばえライブラリーカフェ 実績



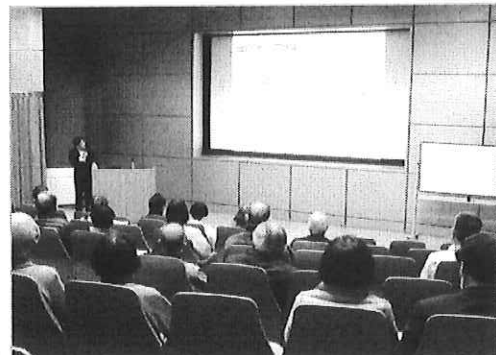
(連)：福井県立大学との連携講座

回	開催日	講師 (敬称略)	テーマ	人数
192	4月22日(金)	中国福建省閩江大学 教員 寺坂 義彦	私の目に映った中国の実像 —中国人、中国社会、そして中国という国—	37
193	5月27日(金)	備わどう 代表取締役 山岸 充	東京出身の私が鯖江に住み、 挑戦し続けるワケ	38
194	6月21日(火)	重要無形文化財保持者 (総合認定) 福岡 聡子	今に伝わる能楽	33
195	7月8日(金)	福井県立大学 生物資源学部創造農学科 准教授 三浦 孝太郎 (連)	福井県立大学で取り組んでいるお米の 新品種開発	22
196	8月19日(金)	カフェフィロ、 近畿大学 非常勤講師 桑原 英之	哲学夜話～ソクラテスは死ぬのが怖くなかつ たらしい、という話～	36
197	9月30日(金)	貨物船・タンカー・コンテナ船 などの元船長、元大阪湾水先人 北條 直史	英国運河、ナローボートの旅	54
198	10月1日(土)	参天製薬(株) HR・サステナビリティ& アドミニストレーション モハメド・オマル・アブディン	ライブラリーカフェスペシャル (Zoomでオンライン開催) 視覚障がい者と読書 私のライフストーリーからの問題提起	51
199	11月15日(火)	元吉本興業ホールディングス 副社長 元スペースシャワーネットワーク 会長 清水 英明	これさえあれば ～本と暮らす生活と地域文化の厚み～ (南越書屋の場と葦遇三余の時)	74
200	12月6日(火)	福井県立大学経済学部 教授 清水 葉子 (連)	インフレーションと金融政策	60
計				405

【講演中の様子】



▲2階ロビーで開催



▲多目的ホールで開催

● ライブラリーコンサート



		開催日	出演	タイトル	人数
1	2023年	3月5日(日)	フルート ピアノ フルート 窪田恵美 渡部由美子 内田彩菜美	フルート×ピアノ×フルート 華麗なるトリオコンサート	128
計					128

さばえライブラリーカフェは講師や議論する参加者の顔が見え、肉声を聞き認識を深められることが特色ですが、さらに「言いつばなし」「聴きつばなし」で終わらずに「カフェの窓」として記録し、参加できなかった人たちにも内容と雰囲気を伝えてきました。

50回記念誌・100回記念誌・150回記念誌に続いて、2023年3月に200回記念誌を発行しました！内容は、第151～200回までの講演を紹介したものです。その他、ライブラリーカフェと並行して開催してきたライブラリーカフェコンサートの紹介記事や講師寄稿文、参加者寄稿文など盛りだくさんの冊子です。

1階メインカウンターにて販売中です。詳細は職員までお尋ねください。

